

急性期入院医療について（その2）

1. 急性期入院医療の現状等について
2. 急性期入院医療の評価について
3. 高度急性期入院医療に係る評価について
4. 論点

(10月27日 入院医療等の調査・評価分科会におけるこれまでの検討結果(とりまとめ))

【急性期入院医療の評価について】

- 急性期一般入院料1を届け出ている医療機関において、治療室の有無により手術等の実績に違いがあったが、急性期入院医療を担っている医療機関の中でも、中小病院では手術等の件数が少なくても地域で役割を果たしている場合もある、との指摘や、
急性期一般入院料1を届け出ている医療機関の中でも手術等の実績に違いが出ていることからすれば、実績に応じた評価を行うべきではないか、との指摘があった。
- 人工心肺を用いた手術については、オフポンプ冠動脈バイパス術が主流となるなど、人工心肺を用いた手術を実施できる体制・能力と、実績とは、必ずしも合わない可能性もあるのではないかと指摘があった。

急性期入院医療に係る指摘事項

【11月10日 中央社会保険医療協議会総会】

(急性期入院医療に係る評価について)

- 充実した急性期入院医療を担っている医療機関については、現行評価よりも、さらに充実した評価とする方向性で検討すべき。一方、治療室を持たない医療機関においても、看護師の配置を工夫し、急性期入院医療を担っている中小病院があり、このような医療機関に配慮することは地域の救急医療体制を維持するために必要ではないか。
- 総合入院体制加算の実績要件において人工心肺を用いた手術が定められているが、オフポンプ手術はさらに高度な技術が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症への対応において、医療資源の集約化、医療機関の機能分化・連携が重要である。急性期入院医療の評価に一定程度段階を設けるべきではあるが、その際に、急性期一般入院料1においても手術等の実績に差があることを踏まえ対応する必要があるのではないか。

急性期医療を担う医療機関の役割(イメージ)

中医協 総-3(改)
25.11.13

高度急性期・
急性期

高度急性期・急性期
(ICU, NICU, HCU等)

急性期医療の役割

① **重症救急**患者に対する医療の提供

救急搬送
(24時間)



② 手術や放射線治療、化学療法、分娩、精神医療等の**総合的かつ専門的な医療**の提供



③ 急性期後の患者を自宅や後方病床等に**退院支援する機能**

亜急性期・回復期等



長期療養
介護等

介護施設等



自宅・在宅医療



急性期医療の役割として、24時間の救急受入体制、総合的かつ専門的な医療の提供、急性期後の患者の後方病床等への退院支援などが重要であると考えられる。

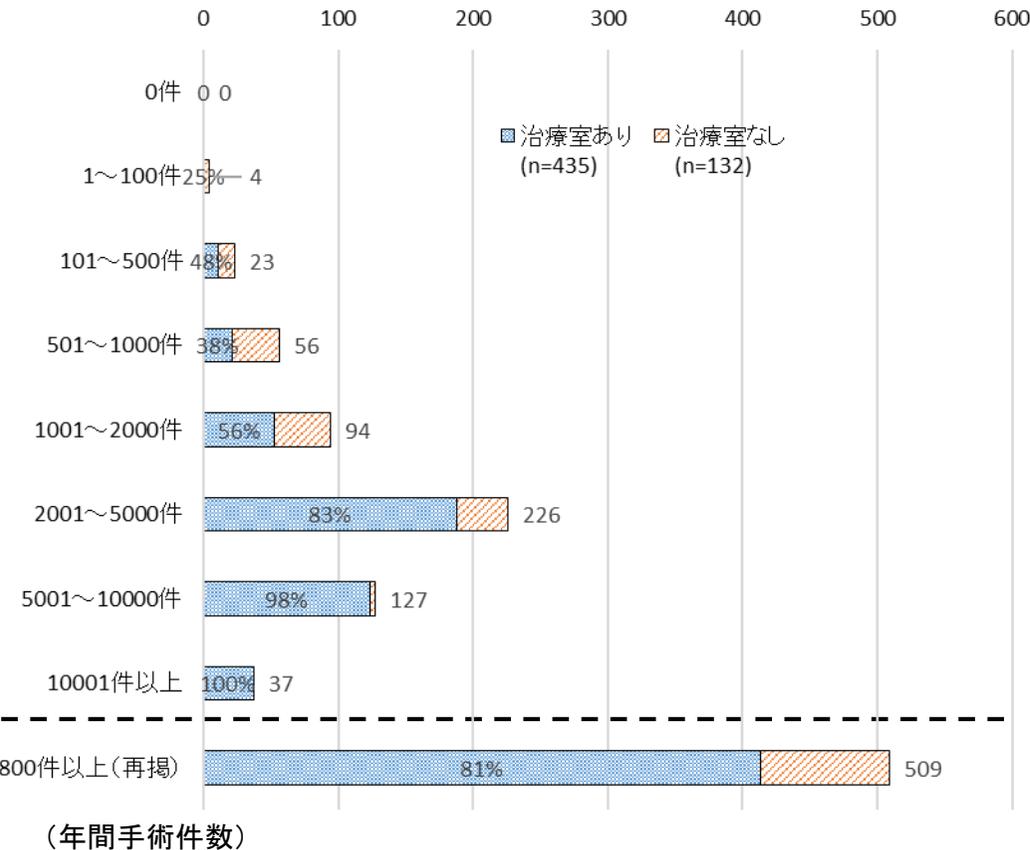
手術・放射線療法・化学療法の実施状況①

中医協 総-1-2 (改)
3 . 1 0 . 2 7

○ 急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における手術の年間実施件数の分布を見たところ、約9割の医療機関では800件以上実施されていた。また、実施件数が多いと、治療室を届け出ている医療機関の割合は高くなる傾向にあった。

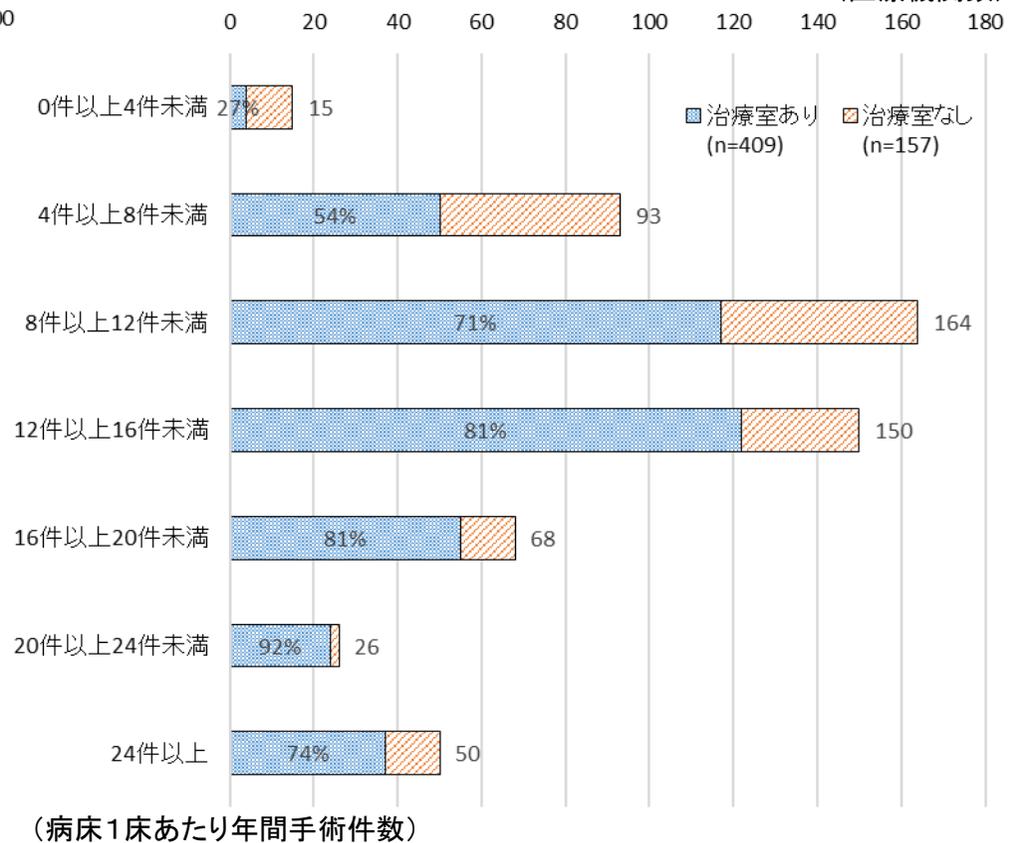
急性期一般1を届け出ている医療機関における
1施設あたりの手術の年間実施件数の分布 (n=567)

(医療機関数)



急性期一般1を届け出ている医療機関における
病床1床あたりの年間手術件数の分布 (n=566)

(医療機関数)



※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。

救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、
脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料
総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

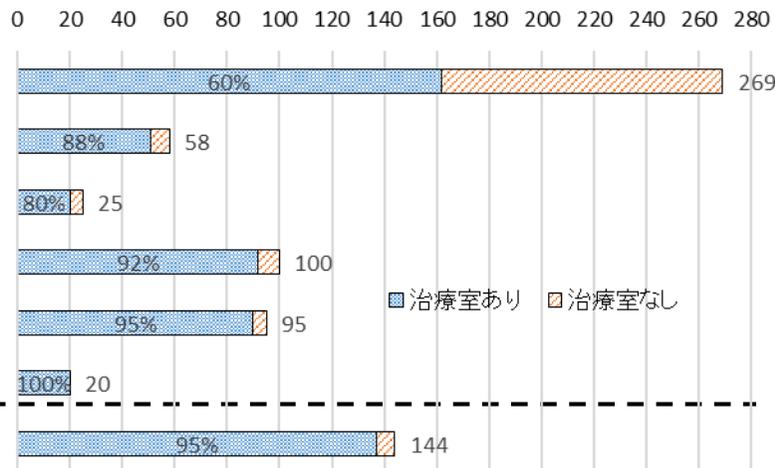
※病床数は急性期一般入院料1の届出病床数

手術・放射線療法・化学療法の実施状況②

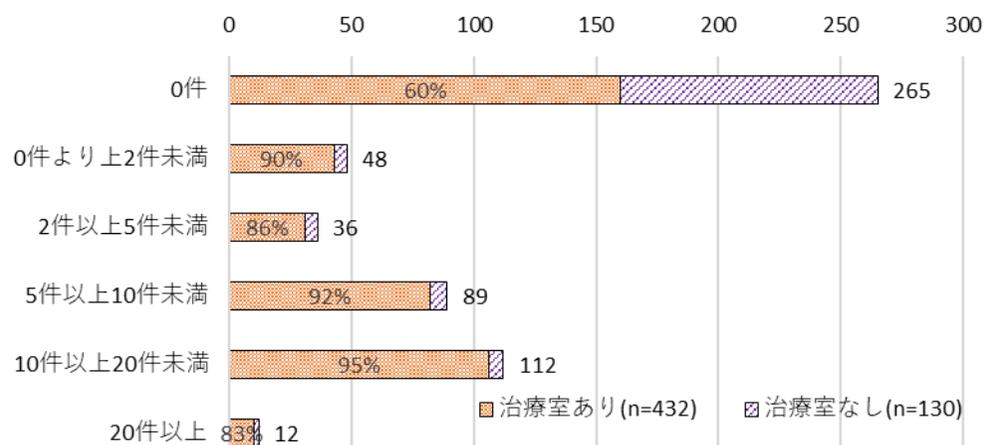
○ 放射線療法、化学療法について、急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における年間実施件数の分布と、許可病床1床あたりの実施件数の分布を比較した。

急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、手術等の状況

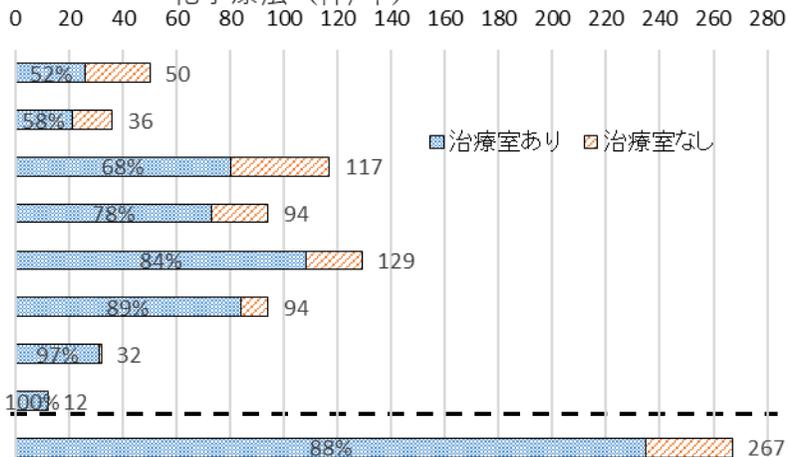
放射線療法 (件/年) (医療機関数)



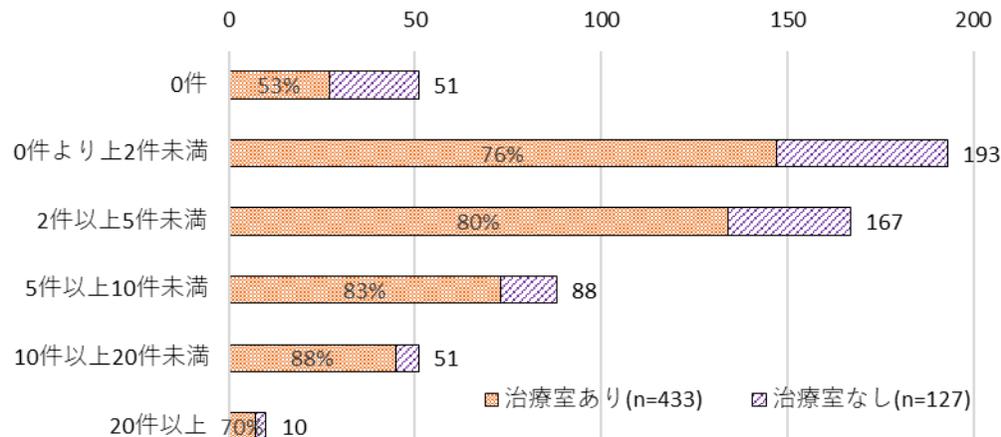
放射線療法 (件/許可病床・年)



化学療法 (件/年) (医療機関数)



化学療法 (件/許可病床・年)



※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。

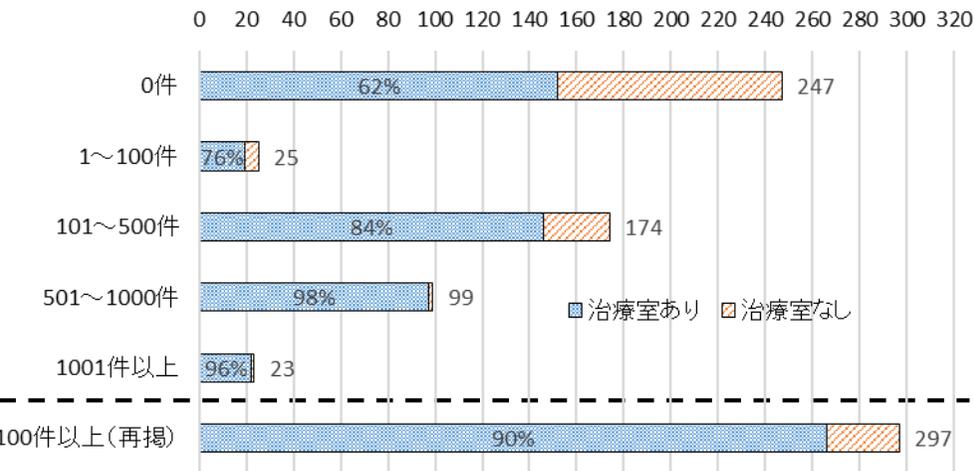
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

手術・放射線療法・化学療法の実施状況③

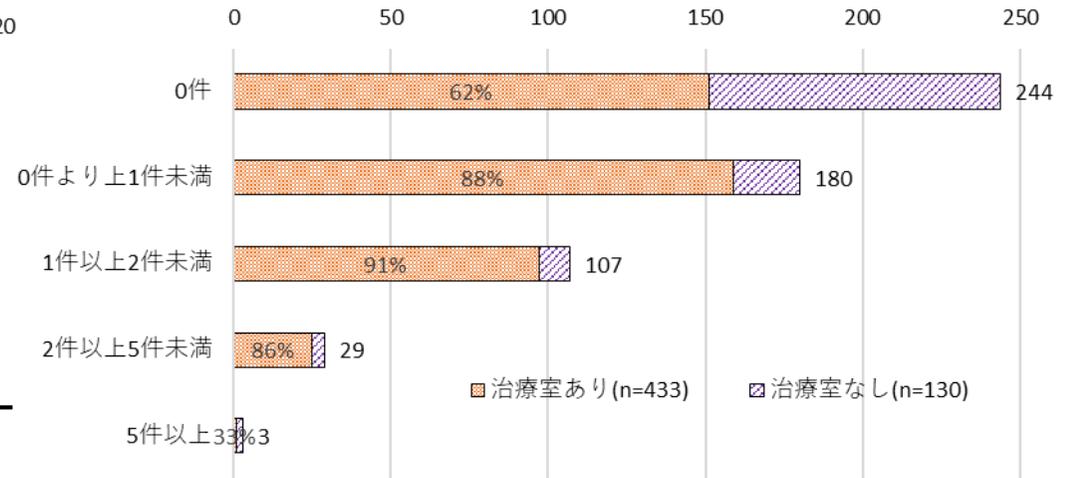
○ 分娩について、急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における年間実施件数の分布と、許可病床1床あたりの実施件数の分布を比較した。

急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、手術等の状況

分娩（件/年）
（医療機関数）



分娩（件/許可病床・年）



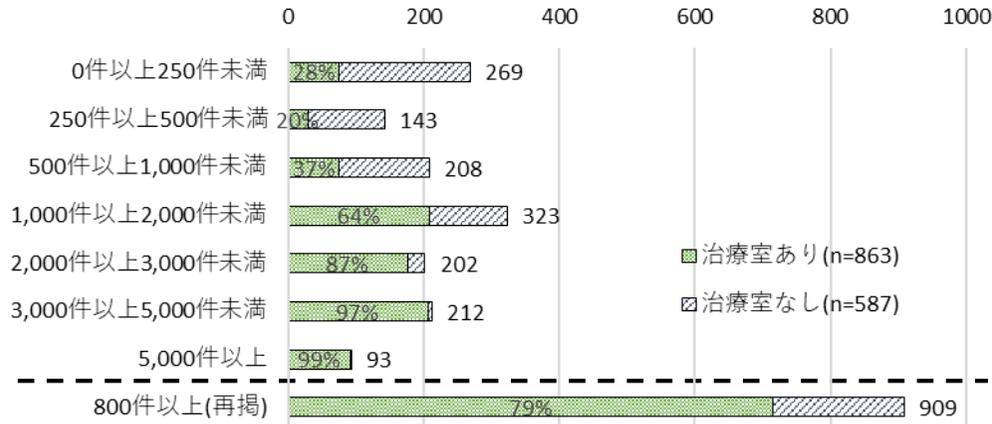
※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

急性期1における治療室の有無別、手術等の状況①

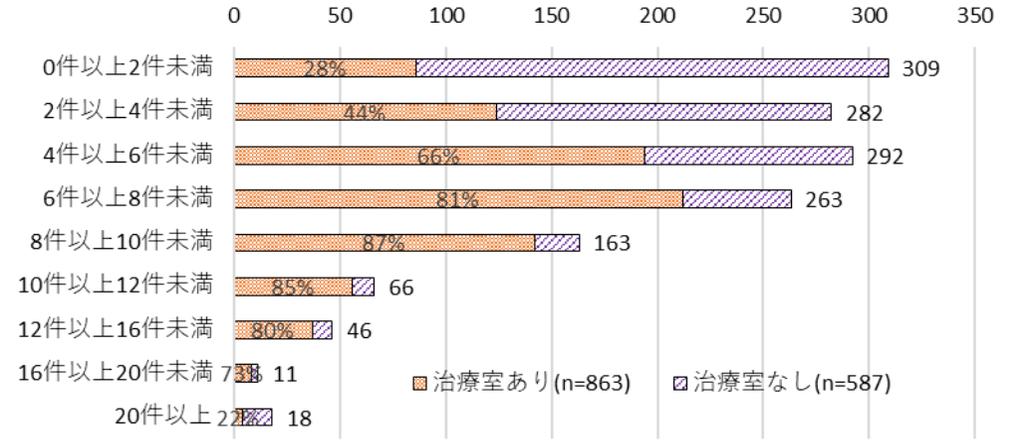
○ 全身麻酔の手術、人工心肺を用いた手術について、急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における年間実施件数の分布と、医療保険届出病床1床あたりの実施件数の分布を比較した。

急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、手術等の状況

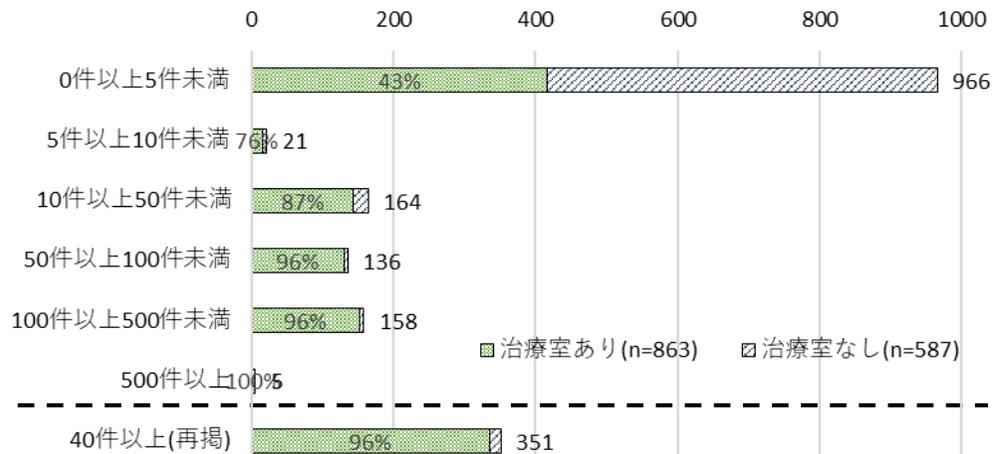
全身麻酔の手術（算定回数/年）



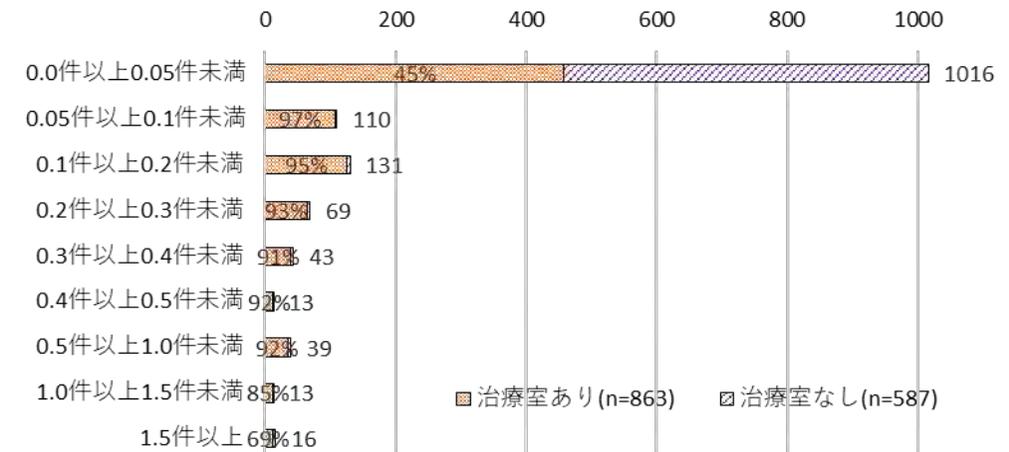
全身麻酔の手術（算定回数/医療保険届出病床・年）



人工心肺を用いた手術（算定回数/年）



人工心肺を用いた手術（算定回数/医療保険届出病床・年）



※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、
脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料
総合産科特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

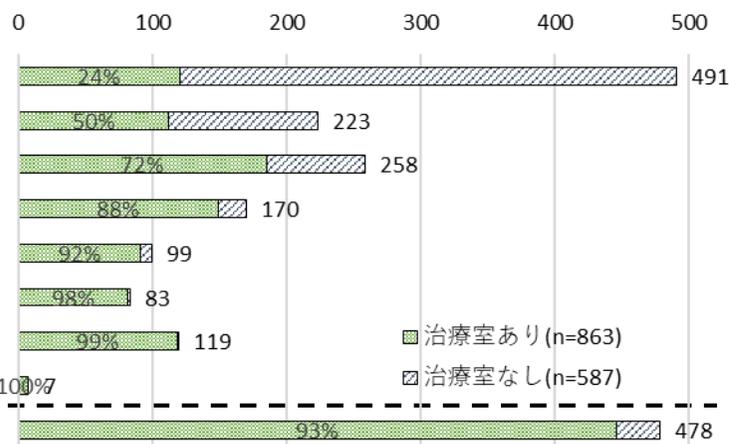
出典：DPCデータ（治療室の状況；令和2年3月時点
算定回数；令和元年度1年間の算定回数）

急性期 1 における治療室の有無別、病床 1 床あたり手術等の状況①

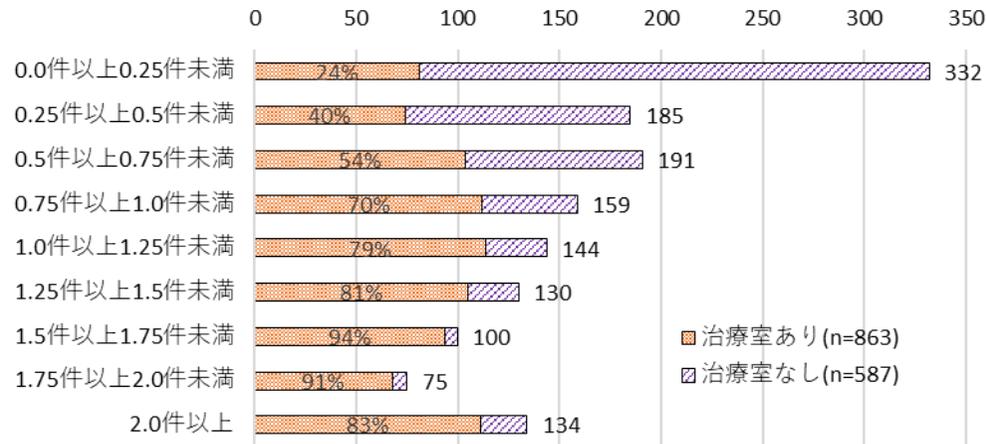
○ 悪性腫瘍の手術、腹腔鏡下手術について、急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における年間実施件数の分布と、医療保険届出病床1床あたりの実施件数の分布を比較した。

急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、手術等の状況

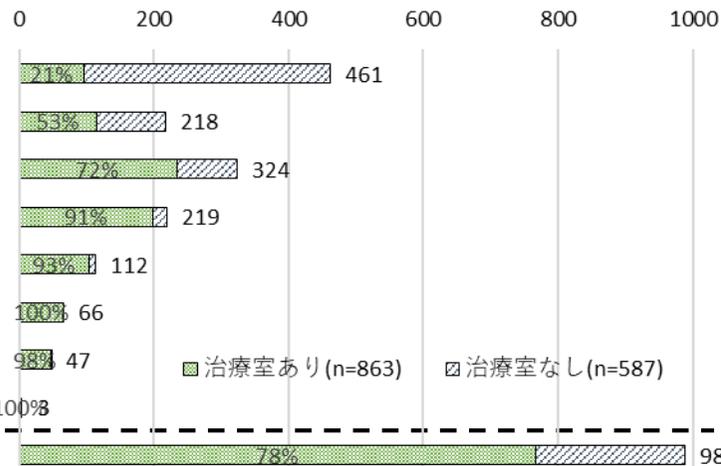
悪性腫瘍の手術（算定回数/年）



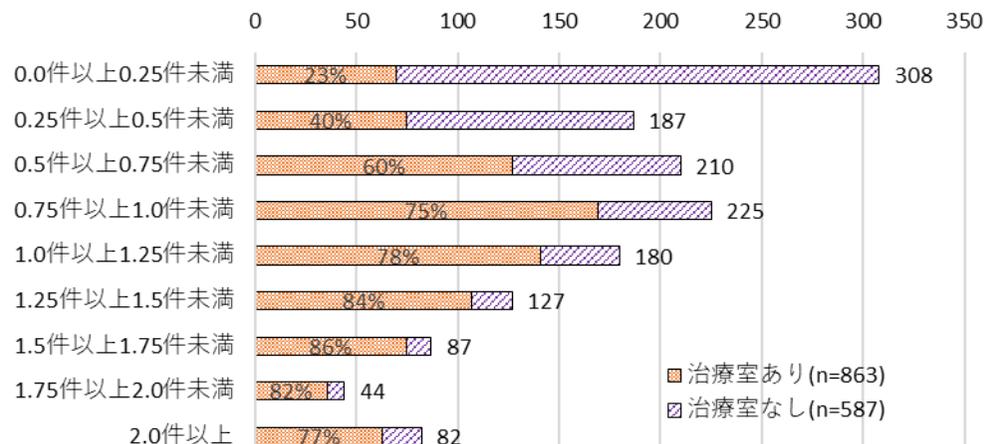
悪性腫瘍の手術（算定回数/医療保険届出病床・年）



腹腔鏡下手術（算定回数/年）



腹腔鏡下手術（算定回数/医療保険届出病床・年）



※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。

救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合産科特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

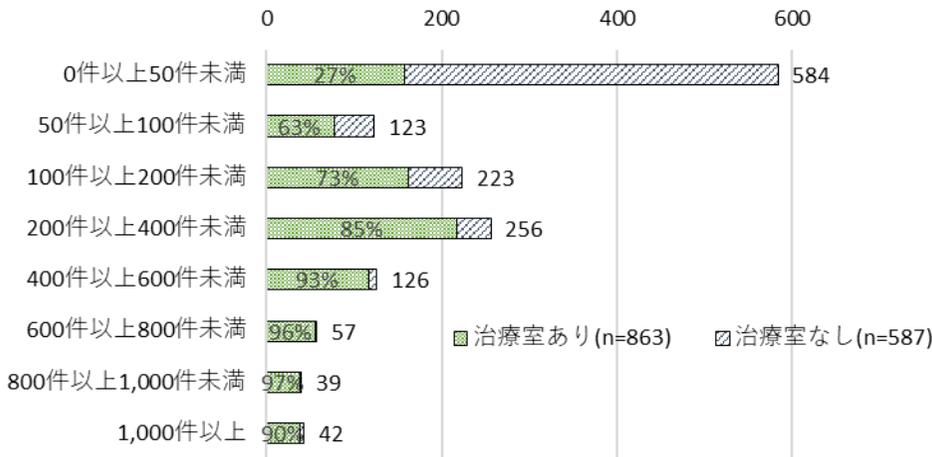
出典：DPCデータ（治療室の状況；令和2年3月時点
算定回数；令和元年度1年間の算定回数）

急性期 1 における治療室の有無別、病床 1 床あたり手術等の状況②

○ 心臓カテーテル法手術、消化管内視鏡手術について、急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における年間実施件数の分布と、医療保険届出病床1床あたりの実施件数の分布を比較した。

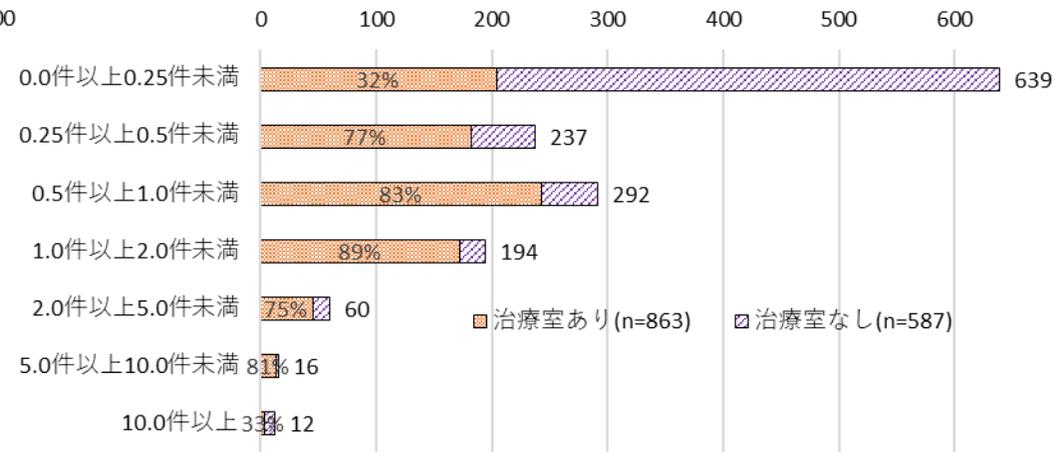
急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、手術等の状況

心臓カテーテル法による手術（算定回数/年）

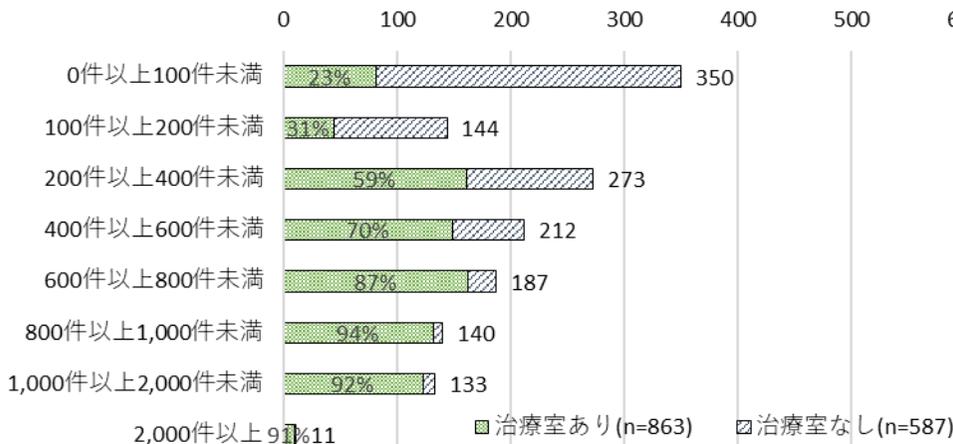


心臓カテーテル法による手術

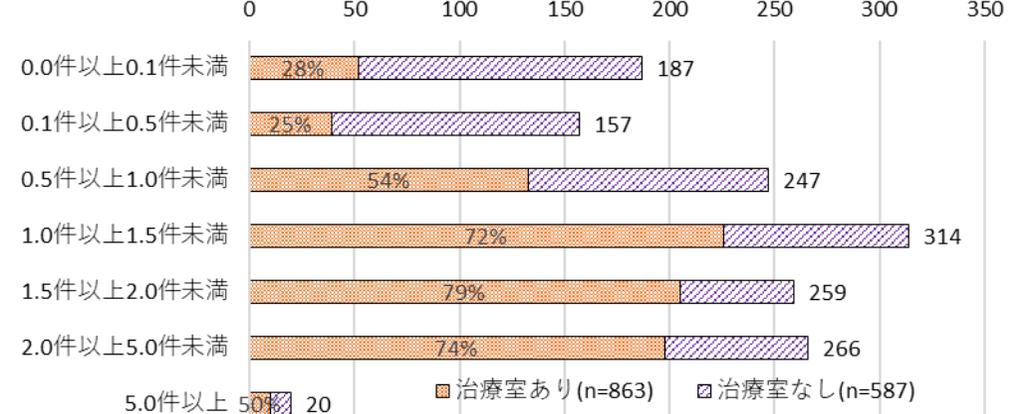
（算定回数/医療保険届出病床・年）



消化管内視鏡による手術（算定回数/年）



消化管内視鏡による手術（算定回数/医療保険届出病床・年）



※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、
脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料
総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

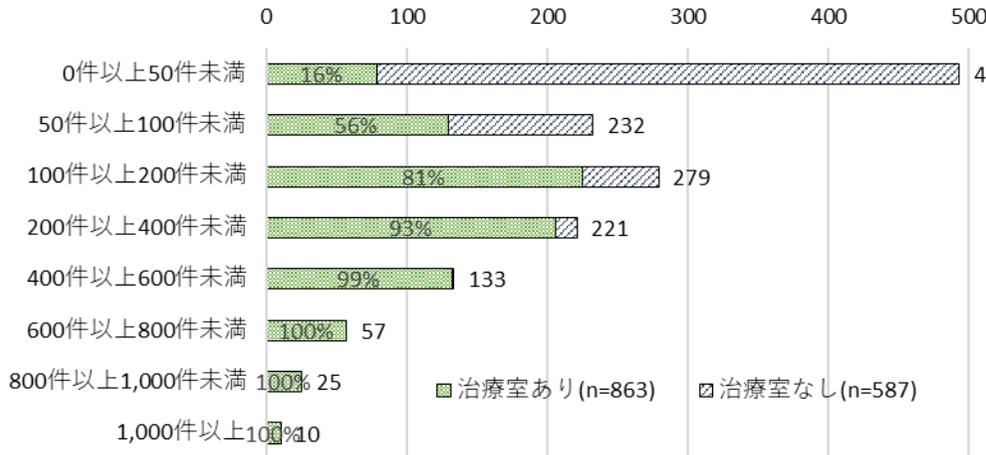
出典：DPCデータ（治療室の状況；令和2年3月時点
算定回数；令和元年度1年間の算定回数）

急性期 1 における治療室の有無別、病床 1 床あたり手術等の状況②

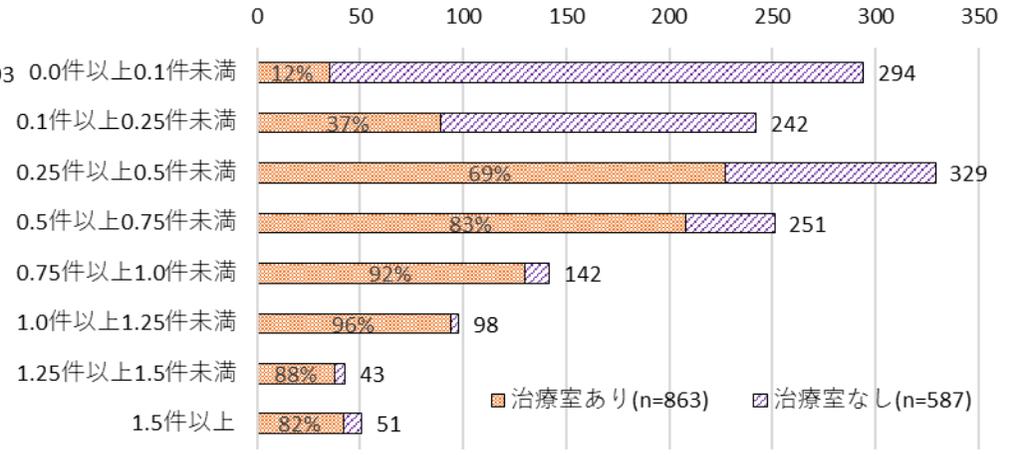
○ 時間外の手術、救急搬送受入件数について、急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における年間実施件数の分布と、医療保険届出病床1床あたりの実施件数の分布を比較した。

急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、手術等の状況

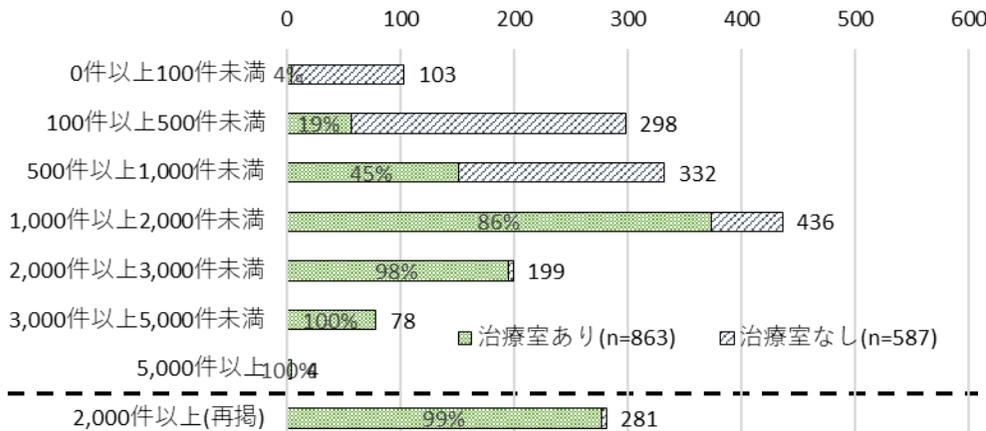
手術における時間外加算の算定件数（算定回数/年）



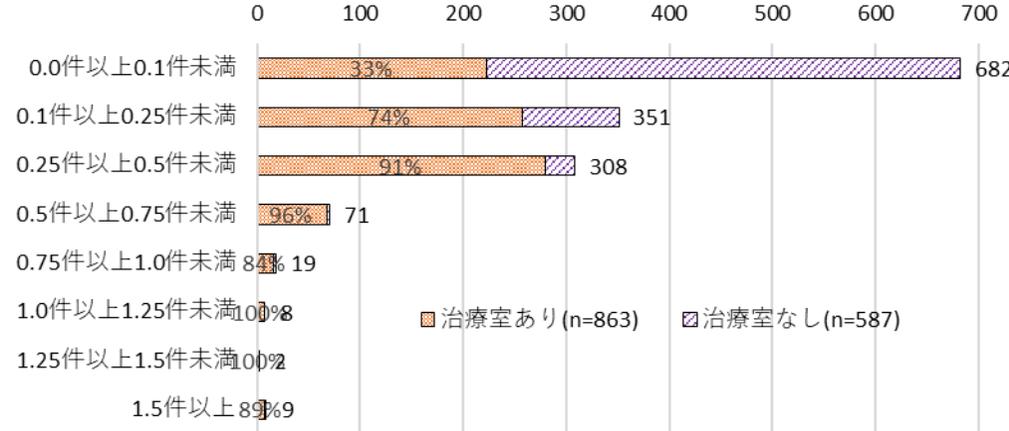
手術における時間外加算の算定回数
(算定回数/医療保険届出病床・年)



救急搬送受入件数（算定回数/年）



救急搬送受入件数（算定回数/医療保険届出病床・年）



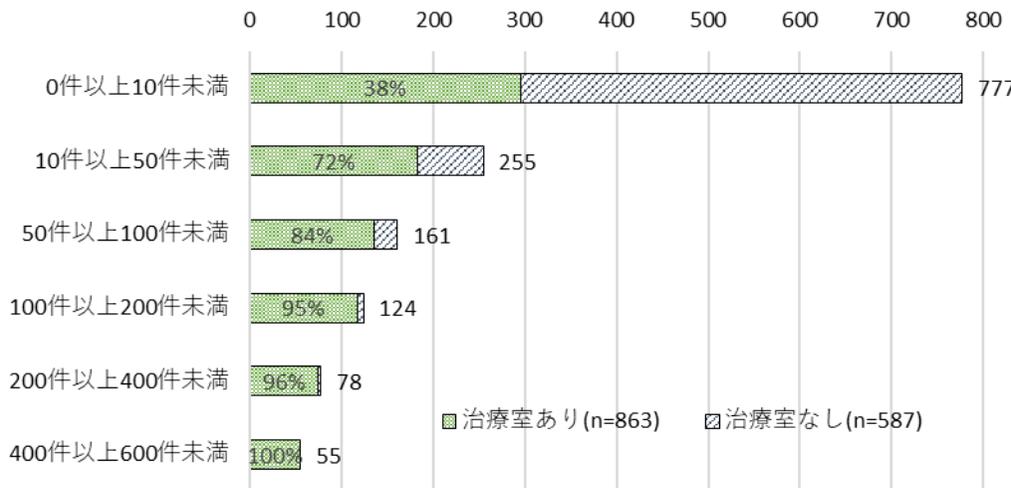
※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、
脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料
総合産産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

急性期 1 における 6 歳未満の手術の実施状況

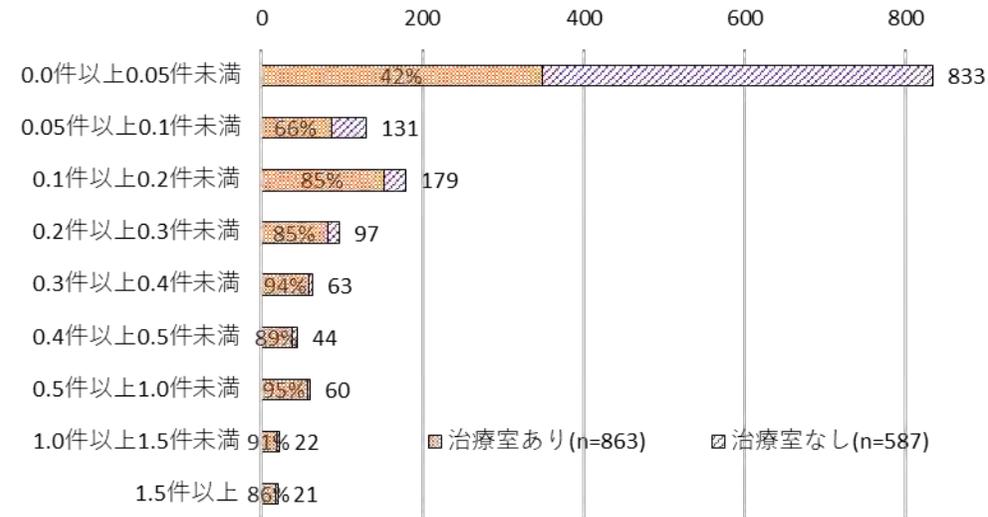
○ 6歳未満における手術について、急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における年間実施件数の分布と、医療保険届出病床1床あたりの実施件数の分布を比較した。

急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、手術等の状況

手術における 6 歳未満に係る加算（算定回数/年）



手術における 6 歳未満に係る加算
（算定回数/医療保険届出病床・年）



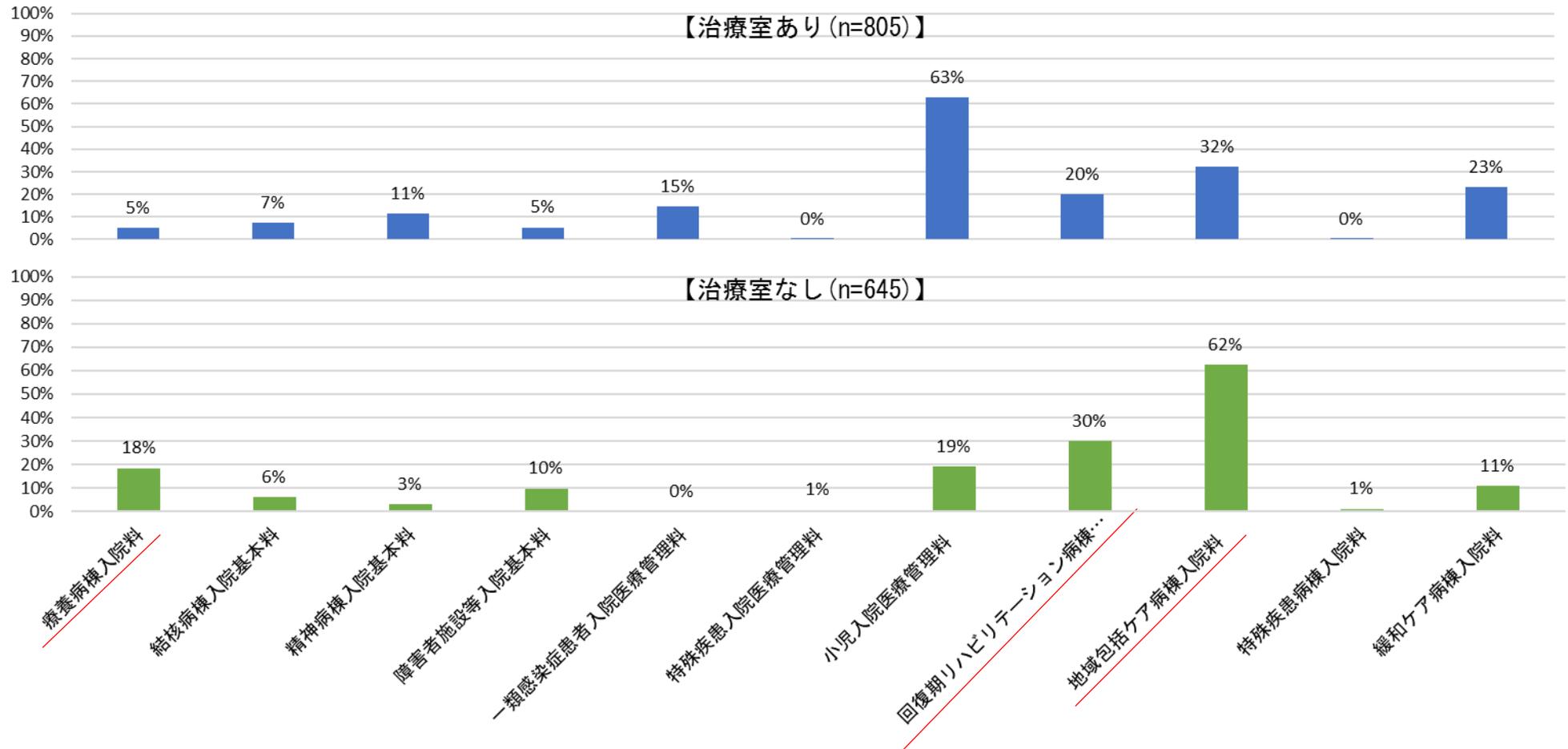
※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、
脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料
総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

出典：DPCデータ（治療室の状況；令和2年3月時点
算定回数；令和元年度1年間の算定回数）

急性期 1 における治療室の有無別・届出病棟の状況

○ 急性期一般入院料1を届け出ている医療機関において、治療室(救命救急入院料、ハイケアユニット入院医療管理料、特定集中治療室のいずれか)の有無別に、他に届け出ている病棟の状況を集計したところ、治療室の届出なしの医療機関の方が届出ありの医療機関より、療養、回りハ、地ケアを届け出ている割合が高かった。

急性期一般入院料1における、治療室(救命救急入院料、ハイケアユニット入院医療管理料、特定集中治療室のいずれか)の有無別、届出病棟の状況

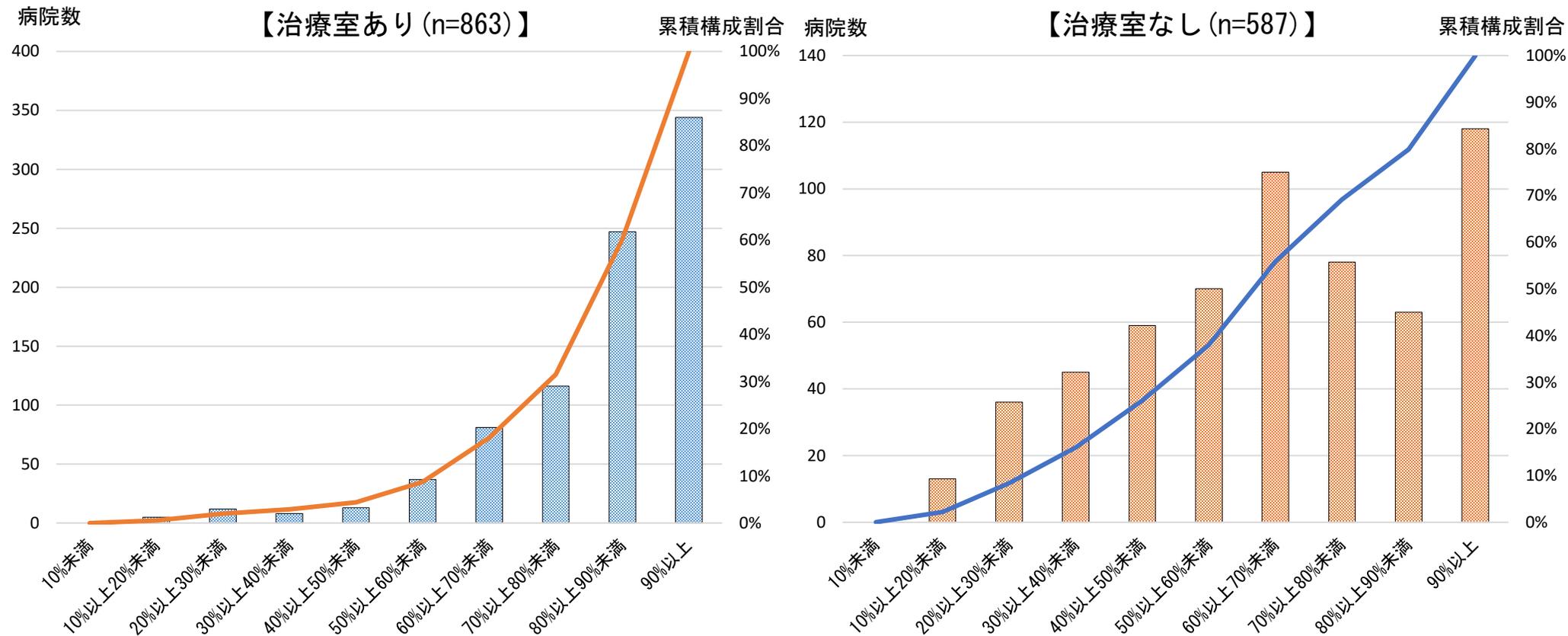


出典：DPCデータ（令和2年3月時点）

治療室の有無別、急性期病床が病床全体に占める割合

○ 治療室ありの医療機関の方が、当該医療機関の医療保険届出病床数に占める急性期一般入院料1及び治療室の病床数の割合が高く、治療室ありの医療機関のうち9割は60%を超えていた。

治療室の有無別、急性期一般入院料1及び治療室が、当該医療機関の医療保険届出病床数に占める割合

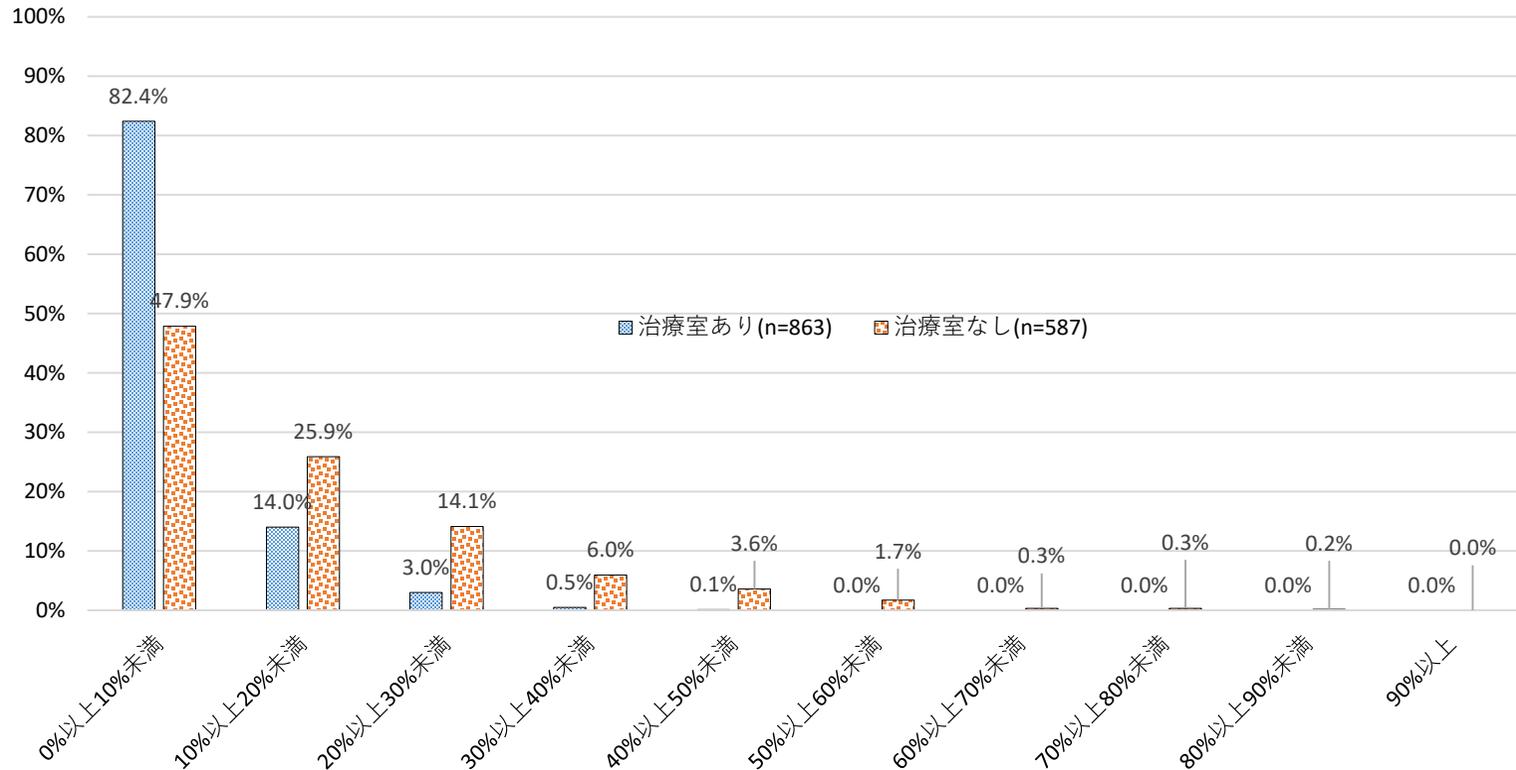


※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、
脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料
総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

急性期 1 における治療室の有無別、自院他病棟（一般病棟以外）への転棟率

○ 急性期一般入院料 1 における、治療室の有無別、一般病棟（急性期一般入院料 1 及び治療室）から自院他病棟（一般病棟以外）への転棟率は、以下のとおりであった。

急性期一般入院料 1 を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、自院他病棟（一般病棟以外）への転棟率



※ 自院他病棟(一般病棟以外)への転棟率:
急性期一般入院料1又は治療室から全ての退棟(退院)患者のうち、自院のそれ以外の病棟に転棟した割合

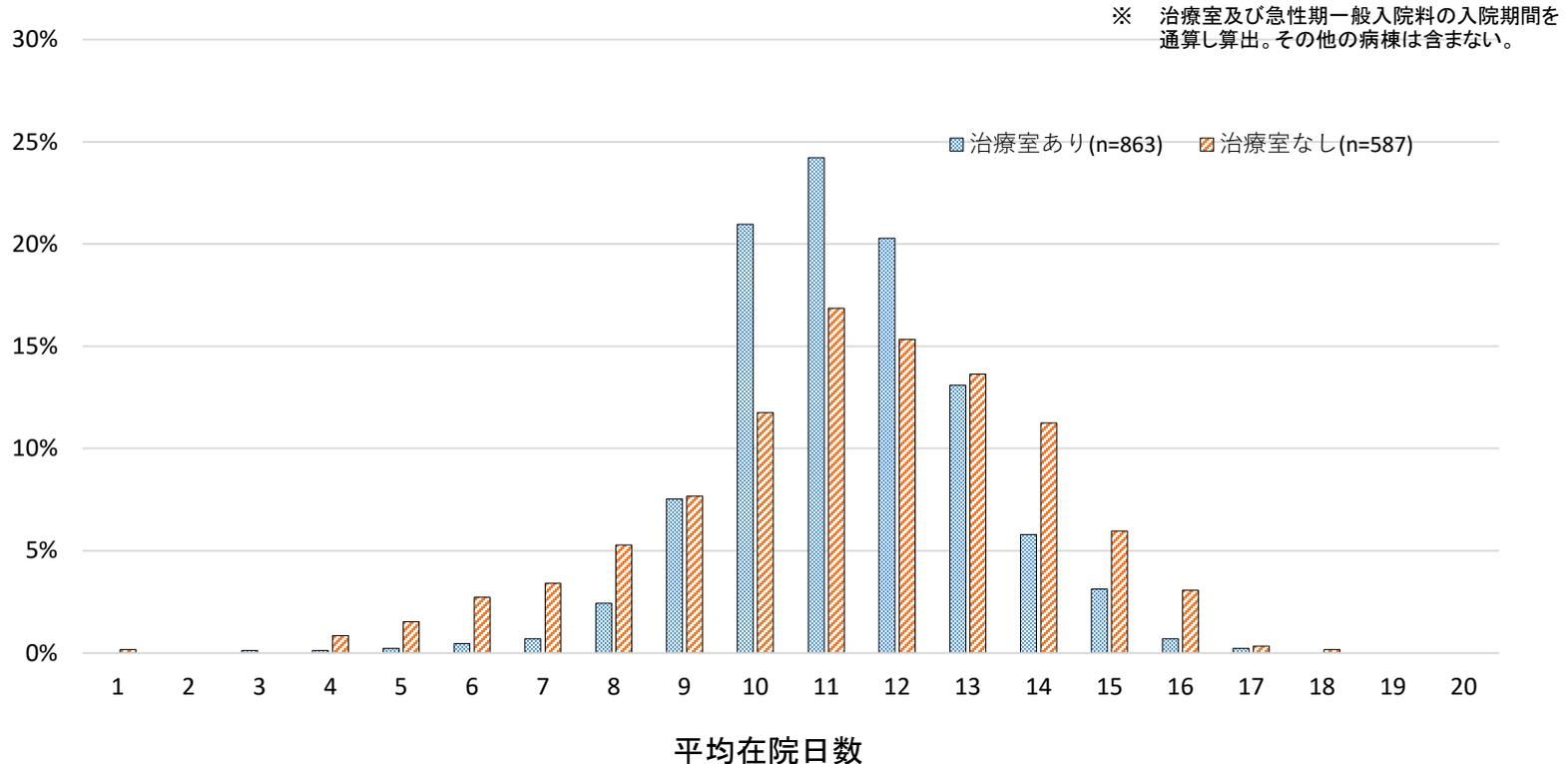
※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

出典：DPCデータ（治療室の状況；令和2年3月時点
転棟率；令和元年度1年間の状況）

急性期一般入院料 1 における治療室の有無別、平均在院日数

○ 急性期一般入院料 1 における、治療室の有無別、平均在院日数の分布は、以下のとおりであった。

急性期一般入院料 1 を届け出ている医療機関における、
治療室の有無別、平均在院日数※の分布

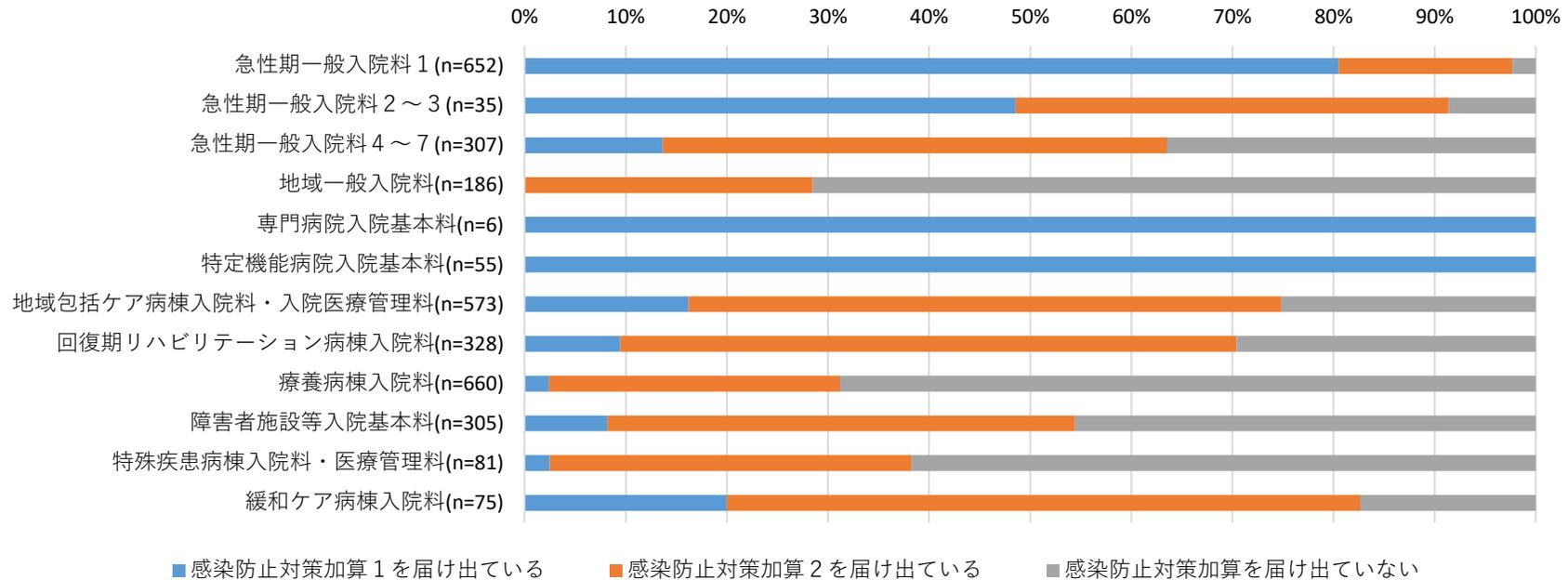


※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、
脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料
総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

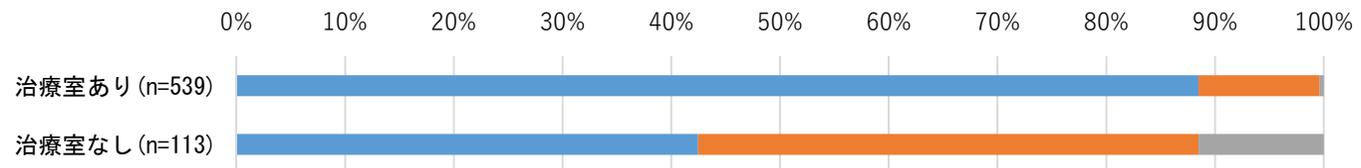
感染防止対策加算の届出状況

○ 各入院料を届け出ている医療機関における、感染防止対策加算の届出状況は、以下のとおりであった。

感染防止対策加算の届出有無



急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、治療室の有無別、感染防止対策加算の届出状況

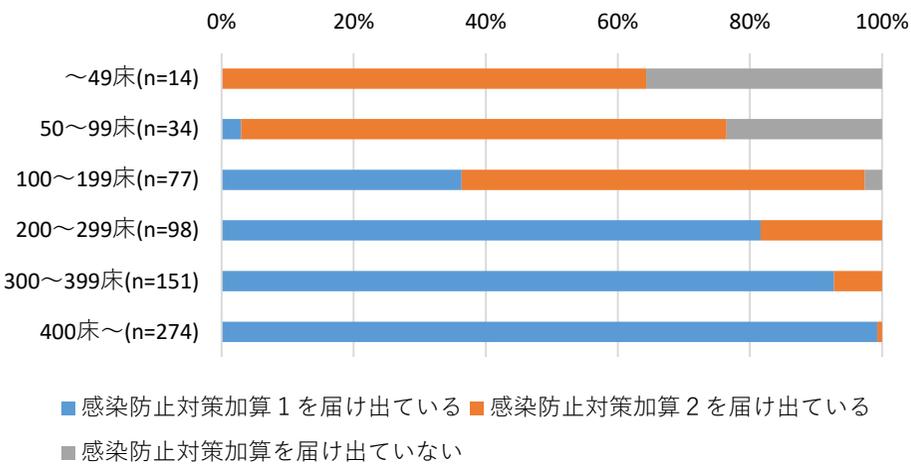


※ 「治療室」を有している医療機関とは、以下のいずれかの入院料を届け出ている医療機関。
救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、
脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料
総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料

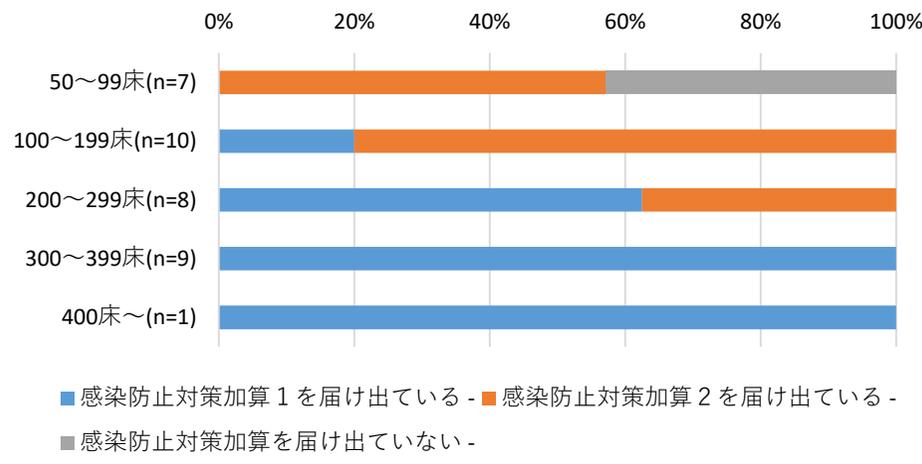
各入院料における病床規模別の感染防止対策加算の届出状況①

○ 各入院料を届け出ている医療機関における、病床規模別の感染防止対策加算の届出状況は、以下のとおりであった。

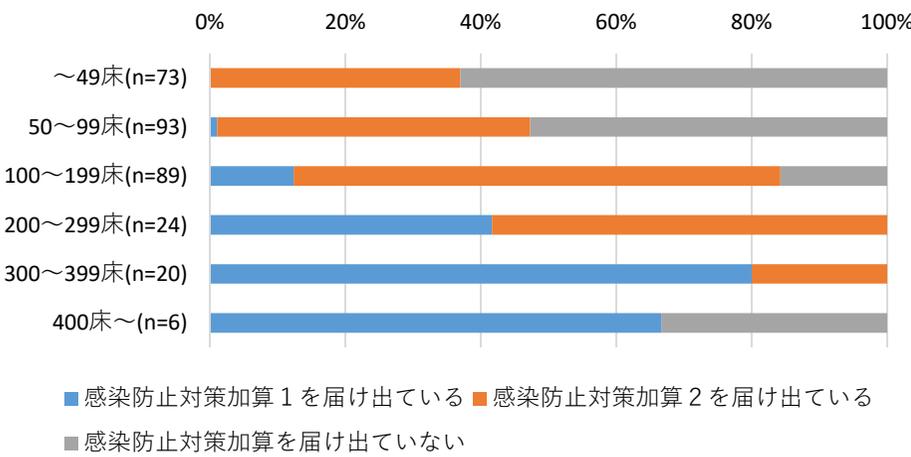
急性期一般入院料 1



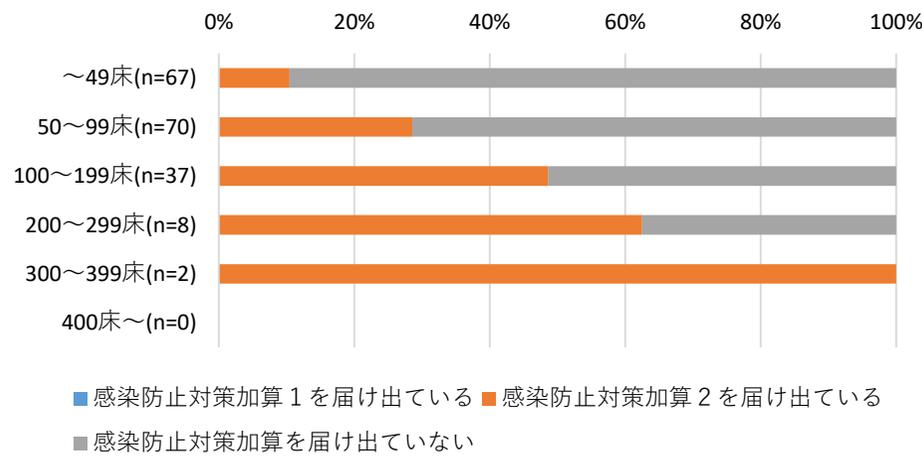
急性期一般入院料 2～3



急性期一般入院料 4～7



地域一般入院料

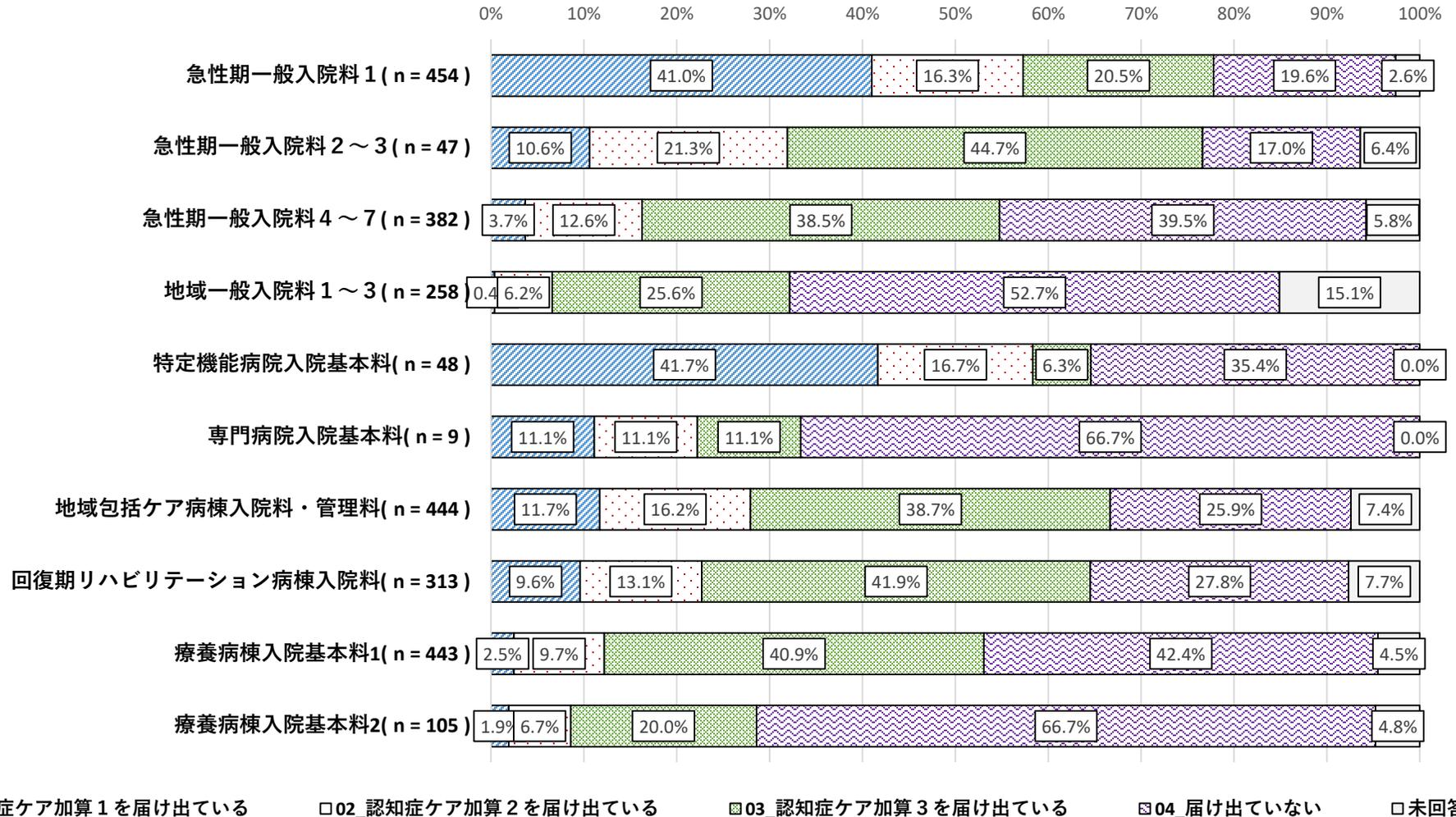


出典: 令和3年度入院医療等の調査(施設票)

認知症ケア加算の届出状況

○ 認知症ケア加算 1 の届出は、急性期一般入院料 1 ・ 特定機能病院で多く、その他の入院料では認知症ケア加算 3 の届出が多かった。

認知症ケア加算の届出状況



01_認知症ケア加算 1 を届け出ている

02_認知症ケア加算 2 を届け出ている

03_認知症ケア加算 3 を届け出ている

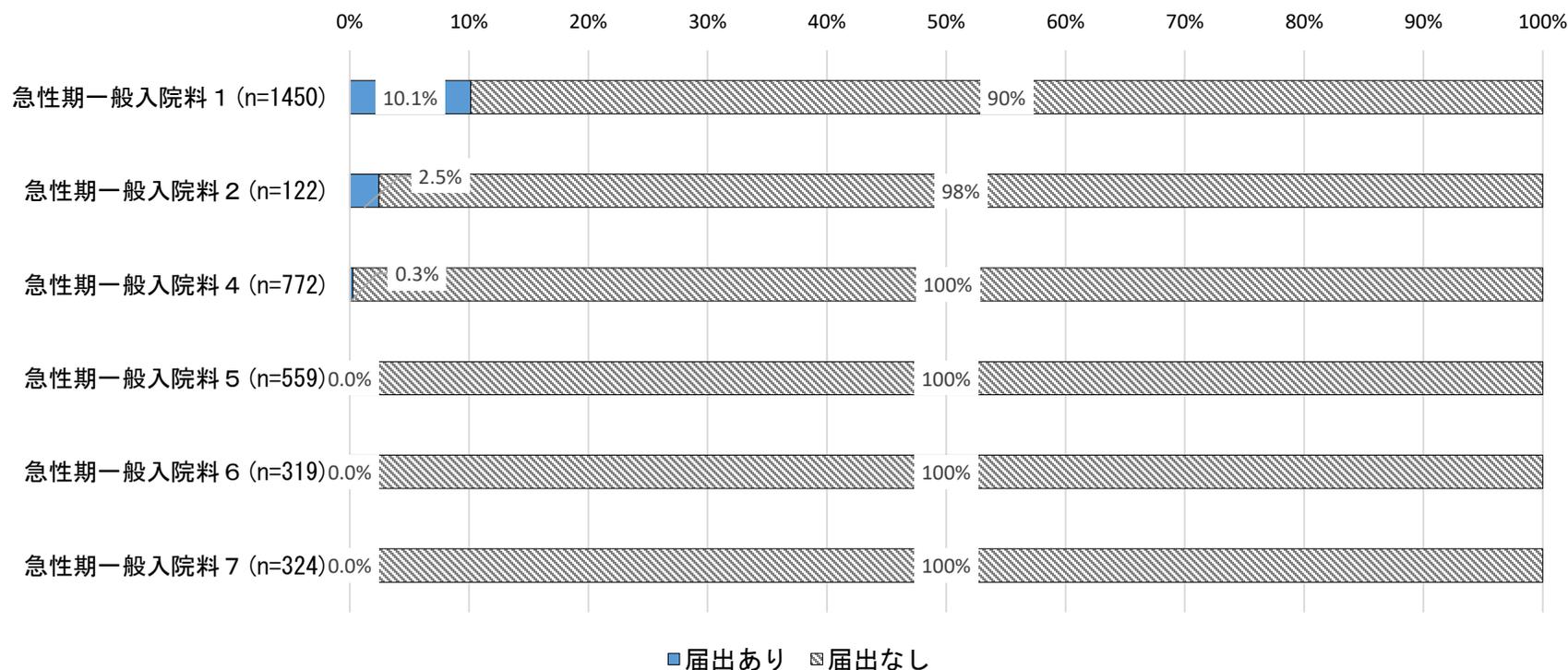
04_届け出していない

未回答

精神科リエゾンチーム加算の届出状況

○ DPC病院における、入院料別の精神科リエゾンチーム加算の届出状況は以下のとおりであった。

急性期一般 1～7のDPC病院における、入院料別、
精神科リエゾンチーム加算の届出状況



急性期医療を担う医療機関に係るこれまでの議論(ポイントの振り返り)

高度急性期・急性期 (ICU, NICU, HCU等)



これまでの議論のポイント (例)

- 24時間の救急医療提供
- 救急搬送の受入れの一定の実績
- 緊急手術の実施
- 入院時重症の患者・家族に対する支援に係る取組



これまでの議論のポイント (例)

- 地域連携室の設置
- 充実した入退院支援
- 回復期入院医療等を担う地域の医療機関との役割分担

これまでの議論のポイント (例)

- 全身麻酔の手術、悪性腫瘍手術、腹腔鏡下手術、心臓カテーテル法による手術、消化管内視鏡による手術等の実施の一定の実績
- 専門的な知識を有する医療従事者による集中治療の提供
- 早期に回復させる取組
- 院内心停止を減らす取組を通じた安全な医療の提供を支える仕組み
- 感染防止に係る取組の実施

これまでの議論のポイント (例)

- 医療従事者の負担軽減に資する取組の実施
- 医療機関の外来機能分化に係る取組の実施



急性期入院医療に係る評価についての課題（小括）

（急性期入院医療の評価について）

- ・急性期医療を担う医療機関の具体的役割として、①救急対応等、重症患者への集中的な対応、②手術等、専門的な医療を安全に提供できる体制を確保、③急性期後の患者を自宅や後方病床等に退院支援する機能、等についてこれまでの中医協で議論を行った。
- ・急性期一般入院料1を届け出ている医療機関における、手術、放射線療法、化学療法、分娩、全身麻酔の手術、人工心肺を用いた手術、悪性腫瘍の手術、腹腔鏡下手術、心臓カテーテル法手術、消化管内視鏡手術、時間外の手術、救急搬送受入件数、6歳未満における手術、のいずれにおいても、年間実施件数が多いほど治療室ありの医療機関の割合が高かった。一方、1床あたりの実施件数を見ると、治療室なしの医療機関においても一定程度実施件数が多い医療機関も存在していた。
- ・治療室の有無別に、当該医療機関の医療保険届出病床数に占める急性期一般入院料1及び治療室の病床数の割合を集計したところ、治療室ありの医療機関の方が、急性期病床が病床全体に占める割合が高く、治療室ありの医療機関のうち91%は、急性期病床が60%を超えていた。
- ・急性期一般入院料1における、治療室の有無別、一般病棟から自院他病棟への転棟率を見ると、治療室ありの医療機関の方が、転棟率が低い傾向にあった。
- ・急性期一般入院料1における、治療室の有無別、平均在院日数の分布を集計したところ、治療室ありの医療機関の方が、平均在院日数が短い傾向にあった。
- ・急性期一般入院料1を届け出ている医療機関のほとんどが、感染防止対策加算1又は2を届け出ている。
- ・急性期一般入院料1を届け出ている医療機関のうち約8割は、認知症ケア加算1、2又は3を届け出ている。
- ・DPC病院のうち、精神科リエゾンチーム加算を届けている医療機関は、急性期一般入院料1又は2を届けている医療機関に分布していた。